

令和3年第3回
総務文教常任委員会

所管事務調査報告

期 日：令和3年5月14日(金)
10:00～11:30

調査内容：令和3年度所管事務調査
(1) 令和3年度所管課の事務事業等につ
いて

出席者：総務文教常任委員5名、傍聴議員1名
説明者：教育長、総務課長、企画調整課長、
税務課長、ほけん課長、福祉課長、
会計管理者、教育次長、
幼児教育課長、生涯学習課長

国見町議会

八 島 博 正 委員長	・ ・ ・ ・ ・	3
浅 野 富 男 委員	・ ・ ・ ・ ・	4
松 浦 常 雄 委員	・ ・ ・ ・ ・	6
山 崎 健 吉 委員	・ ・ ・ ・ ・	8
宍 戸 武 志 委員	・ ・ ・ ・ ・	10

令和3年第3回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和3年5月21日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 八島博正

【協議事項】 令和3年度所管課の事務事業等について

新たに任命された菊地弘美教育長をはじめ所管する9課長が出席し、各課の今年度の所管事務の重点的な取り組みについて説明があった。

【感想】

○各委員からの質疑の内容については次のとおりです。

- ・ワクチン注射の状況と今後の取り組みについて
- ・防災放送について、又、役場庁内の新型感染症対策室や会議の内容について
- ・クーポン券の配布と時期について
- ・学校のICT教育とインターネット活用の為のタブレットの準備について
- ・確定申告のスマートフォンの利用について
- ・その他各課の事務分掌の内容について

令和3年第3回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和3年5月20日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 浅野 富男

【協議事項】令和3年度所管課の事務事業等について

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない中であって、所管課との疎通がこれまでのようにならず、支障をきたしているようなことから、今回は所管するすべての課より本年度の事務事業について、重点事業、概要などを伺う事とした。また任期満了による選挙で当選した新町長の下で、新たに設置された課があることなど役場の組織体制が見直されたことも今回の調査の目的である。

総務課については、コロナ禍にあってよく使われるようになった「リモートワーク」、そして庁内ではすでに利用している「タブレット」など、いわゆるデジタル化に対応した業務の進め方が必要になるだろうとのことである。名称が変更になった企画調整課からは、町の「宝物」を生かすべく町の基本理念に基づいた町づくりを進める旨の報告があった。税務課からは2月の地震による罹災、被災証明にかかる事務が発生していることを主に報告があった。これまでの保健福祉課は二つの課となり、ほけん課はコロナワクチン接種の取り組みを主に説明されたが、過去に前例がないこと、ワクチンの配布についても不確かな部分が多く、接種の予約状況については苦慮しているとのことである。福祉課は、福祉計画の策定から介護など生活支援全般に取り組むこととしている。会計課からは会計課事務の総括に関する事としての話があった。

教育委員会の管轄となる学校教育課からは、ギガスクール、公営塾事業、特別支援の子への対応などについての取り組み、幼児教育課からは、主に認定こども園に関する取り組みについて報告があった。生涯学習課では、図書館の管理ほか生涯学習に関することに加えて、地震被害と施設の整備について報告を受けた。

【感想】

質問についてはどうしてもコロナに関することにならざるを得ない。ワクチン接種と感染状況については日々伝えられているが、医療の逼迫との絡みで公立藤田総合病院にコロナ患者用として4床準備されていることについては、新しい話として聞いた。ワクチン接種終了が7月末までという課題については政府段階での不備があり、課長の答弁も非常に心苦しいものとなっていることを痛切に感じたところである。この他にはデジタル化の時代として、議会についてもタブレットによるペーパーレス化とする計画も進める必要があること、また税の申告などについても同様とのことである。ただ危惧されることは情報が漏えいしたあるいは盗まれたとの報道がある度に、デジタルの便利さの裏にある致命的欠陥ではないかと思われる。

令和3年第3回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和3年5月21日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町副議長 松浦常雄

【協議事項】令和3年度所管課の事務事業等について

1 報告

- 菊地教育長：①ICTを活用した授業の推進 ②生涯学習の充実
③新型コロナ対策をしっかりと
- 阿部総務課長：①庁内のデジタル化の推進（タブレット端末の活用・・・ペーパーレス化の推進）②コロナ対策として庁内の仕事のリモート化 ③人材の採用、育成 ④自主財源の確保
- 大勝企画課長：①第6次町総合計画の推進（R3年度～） ②まちづくりの推進 ③情報システムの推進 ④地域協力隊の活用
⑤地域振興・・・歴史的風致のまちづくりの推進（文化財の維持・活用）
- 吉田税務課長：①税の収納率の向上 ②2月の自身の罹災証明書の発行
- 安藤ほけん課長：①住民の保健事業の推進 ②ワクチン接種の推進
③庁内16例目の感染者対応
④5月18日から高齢者のワクチン接種を始める
- 武田福祉課長：①要保護児童生徒の支援 ②高齢者福祉の充実 ③介護予防の推進
- 阿部会計管理者：①公金の管理
- 羽根学校教育課長：①学校の円滑な運営（特別支援の子供が増えている）
②公営学習塾を開設（地域興し協力隊の活用）
③ギガスクールの推進
④学校給食における食材の地産地消、食育の推進
- 東海林幼児教育課長：①認定こども園の推進 ②保育所、幼稚園等の人手不足の解消 ③ももたん広場、つながルームの運営
- 佐藤生涯学習課長：①だれもがいつでも学べる学習の場の提供と運営の支援

2 懇 談

- 安藤課長：・町民のワクチン接種は、観月台文化センターを会場に集団接種を進める方針である。
- ・全国で85%の自治体が7月末までに高齢者のワクチン接種を完了すると回答している。国見町もそれを目指す。
 - ・公立藤田総合病院は、コロナ対応の病床を4つ設置している。
- 松浦議員：ワクチン接種の申し込み手順は、クーポン券が配布されてから行うのか。
- 安藤課長：85才以上の方にクーポン券を配付している。それを受け取ってからワクチン接種の申し込みをする。申し込みは、電話、パソコン、スマホでできる。家族や民生委員等の協力で行ってほしい。65才以上の方には、2才刻みでクーポン券を送付する。
- 宍戸議員：・町民のパソコンの普及率はどのくらいか。(回答：詳しくはわからない。)
- ・ギガスクール構想とはどのようなものか。(回答：インターネットを活用した情報教育である。児童生徒一人一人にタブレット端末を持たせる。パソコン等でオンライン授業ができる。)
- 吉田課長：平成31年度の確定申告からスマホでも申告できるようになった。
- 山崎議員：①大玉村の人口が増えているのはなぜか。(阿部総務課長：郡山市に近いことと、周辺に原発関係の避難者が多かった。)
- ②コロナ対策本部は何をやっているのか。(安藤ほけん課長：防災無線を使ってコロナへの対策についてのお知らせを町民へ伝えている。)
- ③町長のことばを防災無線で話してほしい。
- 安藤課長：感染状況を把握して感染防止の方策を講じている。
- 山崎議員：感染経路などもっと詳しく知りたい。
- 安藤課長：県からは、詳しい報告はない。本人から学校へ連絡があり、その後役場へ連絡がある。
- 山崎議員：65才以上のワクチン接種の大枠を示してほしい。
- 安藤課長：5月中旬に出すお知らせでも少し示す。

3 調査の結果

- ① 4月から組織が変わって、新しい課長もおおり、顔合わせができたこと及び、各課長から現在重点を置いて取り組んでいることを明確に説明受けることができてよかった。
- ② コロナ禍で日本のオンライン教育が世界の中でかなり遅れていることがわかったので、これに力を入れて先進国に追いつけるように進めてほしい。
- ③ 高齢者向けのワクチン接種の見通しができて、よかった。

令和3年第3回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和3年5月14日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 山崎健吉

【協議事項】 令和3年度所管課の事務事業等について
各課の事務分掌について、概略を説明

【質疑・応答】

- Q、当町では、今日14日、現在、16名のコロナ感染者が発生した。明日15日には、県独自の緊急対策宣言を発令するとしているが、当町における対策本部での内容が町民にも分かるように説明してほしい。
- また、総理・各知事・市長が直接国民や市民に節度ある対応を報じているが、当町の町長の防災行政無線での広報は1度だけである。町民からは取り組む姿勢が重く感じられないとの意見もある。節目に呼び掛けをお願いしたい。
- A、広報紙により再三に渡ってお知らせしている。また、防災行政無線により毎日お知らせしている。音声も飽きないように工夫している。
- A、対策本部の内容については、県や国からの対策を当町に置き換え精査して対策を行っている。防災行政無線の伝え方については対策会議で検討したい。
- Q、65才以上の高齢者に対する接種券の発送についてはどのように計画しているのか。
- A、現在は85才以上を対象に行っている。ワクチンの入り状況を確認しながら年齢を下げて接種券を発送する。
- Q、混乱を避けるためにはいい方法とは思いますが、85才以下の高齢者の接種見込のお知らせは出来ないのか。町民はニュース等を見て国見町はどのようになっているのかとの問いもあるが。
- A、国見の里ではスムーズに実施した。今後も広報紙等でお知らせする。85才以下の接種見込日については、ワクチンの入り次第であり、混乱しないよう対応したい。

- Q、報道によると、移住や子育てがしやすい町の記事があった。それによると大玉村や桑折町の名前が挙がっていた。当町も子育てはいいと思っているが当町との魅力の差はどこに感じていると思うか。
- A、大玉村は首都圏や郡山にも近いことから仕事場所もあると思う。また地価も安いことや、行政面でのサポートも大きいかと思う。
- Q、第6次町総合計画で移住や子育て問題を取り上げている、ぜひ他の町も参考にして行政を進めてほしい。

【感想】

今回の委員会は、全所管の紹介であり、年間スケジュールの企画調整課ではなかったので集中しての審議は出来なかった。今年度から始まった第6次町総合計画を今後勉強して行きたい。

令和3年第3回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和3年5月14日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 宍戸武志

【協議事項】令和3年度所管課の事務事業等について

所管課の事務事業等について各責任者、主に課長より説明があった。

- 総務課～新任課長より説明。議会へのタブレット端末配置も検討。
- 企画調整課～地域おこし協力隊に関する事。内容等について話しがあった。(主な仕事は、小・中学生向けの塾の充実)
- 税務課～本町は税収納率が極めて高い。税電子申請にも言及された。
- ほけん課～主に、新型コロナウイルスについて話された。内容については、「意見交換」の箇所にて説明。
- 福祉課～新任課長より説明。
- 会計課～課長より説明。
- 教育委員会 学校教育課～「生き抜く力」を身につけさせる。
ICT教育(GIGA スクールの充実)新時代の学びを支える先端技術を身につけ、フル活用できるようにする。「誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学び」を実現。ICT教育環境の整備。6月末一人一台タブレットの配置。
- 教育委員会 幼児教育課～課長より説明。

【質疑・応答】

Q 5月14日現在の本町における新型コロナの現状とワクチン接種動向は。

A 16例目が出ている。詳細は未公表。ワクチン接種は本町では順調に進んでいる。ただ、国の発表と現実との乖離が相当ある。マスコミにも原因がある。17日の週より85歳以上接種。尚、予約券は混乱が生じないように2歳刻みで発送。見直しもある。50%がネット予約。今後も迅速・円滑に事が進むよう体制整備に万全を期す。

Q 町民の方々へのデジタル教育と本町世帯のパソコン導入率(インターネット)は。

A スマホ教室は何回か実施している。好評である。パソコンの普及率は統計がない。

Q 大玉村はなぜ人口が増えているか。

A 郡山市に近い。地の利が原因と考える。他に考えられない。